

大阪府内企業の健康関連事業への取組の実態

大阪産業経済リサーチセンター 主任研究員 小野 顕弘

■はじめに

近年、市場の成熟化が進むとともに、IT技術の発展などもあり、消費者の生活スタイルも大きく変化しており、「もの」から「こと」へと志向の多様化も進んでいます。一方で、国内では少子高齢化が進み、介護や健康寿命などの話題が増加する中で、消費者の健康な生活への関心がより高まっています。それに伴い、健康に関わる産業分野（健康関連事業）への注目が高まっていますが、健康関連事業は医薬品や医療機器などの医療市場と異なり、対象は年齢や性別に関係なく広範囲であり、事業の内容も各種データ測定機器やデータ管理サービス・アプリなど情報分野、食品や飲料など食の分野、運動や睡眠、リラクゼーションやエンターテイメントなど極めて多様で、その産業実態を把握することは難しい状況となっています。

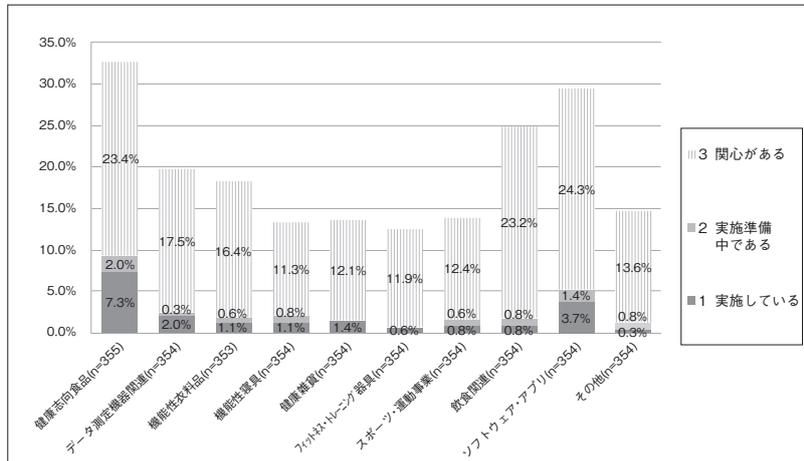
そこで、当センターでは、大阪府内の中小製造業者を対象に、健康関連事業への取組の実態

や課題について平成29年に調査を実施し、報告書を作成しました。本レポートでは、その概要を説明します。

■健康関連事業への取組状況について

府内中小製造業者の健康関連事業への取組状況及び取組予定については、図表1に示すとおりで、現状既に取り組まれているのは、「健康志向食品」が7.3%、「ソフトウェア・アプリ」が3.7%程度で、現時点ではほとんど取組はされてはいません。しかし、関心があるとの回答は、「ソフトウェア・アプリ」が24.3%、「健康志向食品」、「飲食関連」が23.4%となっており、分野間の差はみられるものの、一定の関心を持たれているといえます。特に関心の高い分野は、食品関係と情報関係であり、特定保健用食品（トクホ）や機能性表示食品、健康データ管理のアプリなど、近年話題に上がることの多い分野が中心となっているといえます。

図表1 健康関連事業への取組（予定）



図表2 業種別健康関連事業への取組（予定）

	健康志向食品 (※※)	データ測定機器関連 (※※)	機能性衣料品 (※※)	機能性寝具 (※※)	健康雑貨 (※※)	フィットネス・トレーニング機器 (※)	スポーツ・運動事業	飲食関連 (※※)	ソフトウェア・アプリ (※※)	その他 (※)
食料品製造業・飲料製造業 (n=105)	63.2%	11.4%	5.7%	3.8%	3.8%	3.8%	7.6%	45.7%	19.0%	12.4%
繊維工業 (n=52)	11.5%	11.5%	53.8%	69.5%	38.5%	17.3%	21.2%	13.5%	11.5%	7.7%
医薬品製造業～運動用具製造業 (n=68)	29.4%	19.1%	13.4%	41.9%	13.2%	13.2%	16.2%	16.2%	19.1%	10.3%
ソフトウェア業 (n=119)	18.5%	32.8%	16.0%	1.0%	10.9%	18.5%	15.1%	16.8%	53.8%	21.0%

(注) カイ2乗検定にて、※※は1%有意、※は5%有意であることを示す。

これらの分野別の関心度について、業種別に見たものが、図表2ですが、「食料品製造業・飲料製造業」は「健康志向食品」や「飲食関連」、「ソフトウェア業」は「データ測定機器関連」や「ソフトウェア・アプリ」、「繊維工業」は「機能性衣料品」や「機能性寝具」への関心が高いなど、それぞれ既存事業との関連分野への関心は高くなっていることがわかります。以上から、事業として考える場合、技術や販路の応用可能性の高い、現在の事業の関連分野についての関心が高くなっているといえます。

■健康関連事業のメリットと課題について

健康関連事業のメリットについては、図表3に示していますが、「新たな取引先開拓」が47.9%、「新市場への参入」、「市場の将来性」が41.7%と多く、将来性の高い市場の可能性が健康産業の最大の魅力と感じていることがわかります。さらに「既存事業との相乗効果」も40.6%となっており、健康関連事業は分野が幅広いため多様な業種の企業においても既存事業のノウハウやネットワークが活かせる分野があるということも関心が高い要因となっています。

一方で、課題については、図表4に示すとおり、「販路の開拓」が34.6%と最も多く、「事業ノウハウの習得」が32.5%、「コスト対応」、「品質・安

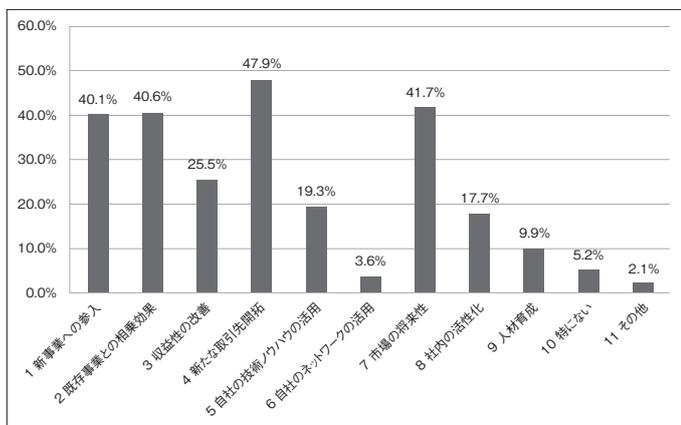
全性対応」が28.8%、「製造技術の確立」が27.7%と、実際に事業を行う上で具体的な事業化の仕組みの構築に課題を感じていることがわかります。この分野は、健康という人体に直接影響を与える分野であるため、医療産業ほどではないにせよ、安全性や効果の再現性などが求められるなど市場の特殊性があり、ビジネスとして展開するに当たっては、その方法や仕組みを確立することが容易ではないことを示しています。

■おわりに

健康関連事業は、近年注目を集める成長分野であり、実際に府内企業においても関心が高い分野とはいえませんが、実際の市場参入や事業への取組はこれからの分野となっています。一方でその課題は、新しい市場であり、また安全性が強く求められるなど、市場の特殊性もあるため、具体的な事業の実施方法の確立となっているといえます。そのため今後の先行企業の成功事例が増加すれば、産業としてもより活性化していくものと思われれます。

大阪府は従来より、多様な業種の企業が集積している地域ですので、今後はそれら企業間連携等から新たな成功企業が数多く生まれることで、今後の健康産業の活性化に寄与することが期待されます。

図表3 事業のメリット (n=192・複数回答)



図表4 事業の課題 (n=191・複数回答)

